

芝浦工業大学剣道部 五十年の歩み

(2010年 10月)



芝浦工大剣道部 OB 会

芝浦工業大学 校歌

作詞 北原白秋
作曲 山田耕柞

一、朝日に輝く 風と潮
雄大空あり 雲は移る
仰げよ校旗の 翻翻たるを
白亜の殿堂 ここに聳え
われらが工学 英気鍾む
芝浦 芝浦 我等が母校

二、世紀に脈打つ 熱と理性
剛健矩あり 常に鍛う
行えほがらに 澆刺たれや
師弟の純情 一に依りて
磨くにこの技 神に通ず
芝浦 芝浦 我等が母校

三、永遠に栄ゆく 意志と秩序
誠実ただあり 道は徹る
夢むな空理の 漠々たるを
精微をきわめて 事に即かば
工学日本 大を成さん
芝浦 芝浦 我等が母校

応援歌 荒波浴びる

荒波浴びる 芝浦に
聳ゆる工大 我が母校
伝統此処に 五十年
文化の渦潮 導きて
静穏精進に 敵は無し
おお芝浦 エンジンア



ご挨拶と回顧録（創部当時の思い出）

このたび、わが芝浦工業大学体育会（旧学友会）剣道部は、創部 50 周年を迎えることができました。これも、偏に関係各位のご指導、ご支援、学校のご理解、そして OB 部員を含めた部員の皆さんの精進の賜物であり、感謝申し上げますとともに、厚く御礼申し上げます。

特に、歴代の理事長、学長、並びに、歴代の剣道部長（初代三浦元秀先生、二代広川愿二先生、三代鯉淵正夫先生、四代石上克夫先生、五代鶴見近夫先生、六代垣内邦昭先生）と歴代師範（初代奥野幸作先生＜実際は愛宕警察署助教京極由太郎先生＞、二代藤林義雄先生＜現 OB 会藤林祐二副会長の父＞ 三代羽賀準一先生、四代佐藤博信先生＜警視庁剣道名誉師範＞五代伊藤知治先生＜現師範＞他、多くの先生方のご指導とご支援を頂いたことに深く感謝の意を申し上げます。

顧みますに、昭和 35 年 4 月に 1 年生、2 年生の勇士 31 名で同好会を結成し、同年 5 月 12 日に学友会（現体育会）に「同好会発足届」を提出して、創部 50 周年の第一歩を歩み出しました。

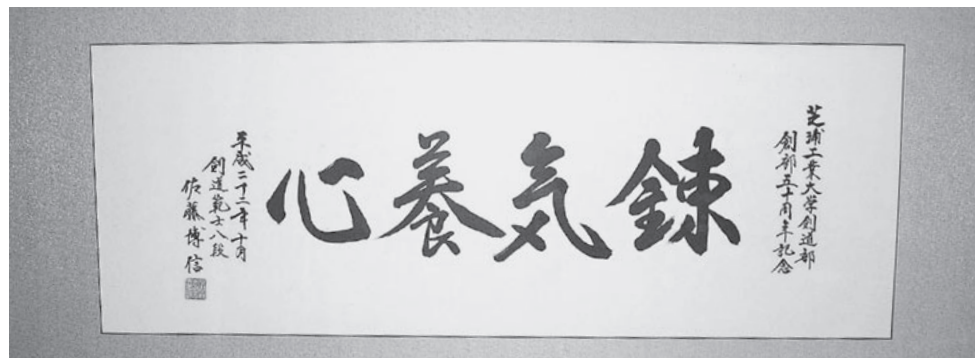
同好会では、学校からの援助は全く無く、会員の自力運営でスタートしましたので、勿論自前の道場ありません。空き教室の机椅子を片付け、道場代わりに稽古をし、あるいは、東京税関や愛宕警察署（剣道助教京極由太郎先生）の道場をお借りして稽古に励みました。又、この年の夏合宿は、千葉県館山市立房南中学校の石井先生（当時中学剣道部長は現在 80 歳半ばですがまだお元気です）に無理をお願いし、自炊の条件で無料宿泊させて頂きながら、7 日間の厳しい合宿を乗り切ったことも良き思い出です。同年春に第一回関東理工科系大学優勝剣道大会（当時 5 大学対抗）が開催され、初優勝を勝ち取りました。又、港区剣道連盟にも積極的に参加しました。そんな半年の努力が認められ学友会から正式に伝達があり、同年 11 月 21 日付けで剣道部が誕生したのです。

部に昇格してからは、昭和 37 年春、第 11 回関東学生優勝大会で生田主将を大将にてベスト 8 に入賞、大阪中央体育館で開催された第 10 回全日本学生優勝大会への場切符手にすることが出来た。又、同年関東学生新人戦大会では準優勝に輝きました。その後も数々のすばらしい戦績を残し、伝統ある部へと成長して参りました。

最後に、現役部員諸君は、この 50 年という祝い事に思いを馳せ、次の 60 年に向けて、一層の精進をお願いするところであります。又、50 年間共に苦勞して来た皆様と喜びをわかり合い、剣道部がよい伝統を踏襲して、さらに発展することを祈念し、更なるご指導ご支援をお願い申し上げて、挨拶とさせていただきます。



第 1 期生（昭和 38 年卒）
OB 会会長
菊井美亮



先師 羽賀準一の思い出



第4期生(昭和41年卒)
野口貞夫

先師羽賀準一との出会いは、昭和38年7月、高輪の料亭「桧苑」で、芝浦工業高校の田中先生より、大麻先生（剣道範士十段）、「日剣連」の渡辺先生とともにご紹介されたのを嚆矢とする。当時、この諸先生方は、知る人ぞ知る、名剣士揃いであった。

振り返るに芝浦工大の指導者なられた先師羽賀準一の指導方針は、「激しく」「短かく」がモットーであったのを記憶する。又、先生には毎回の稽古で血気盛りの我々を相手に体当たりと切り返しを受けていた記憶が生々しい。

そして、その指導で、先ず先輩諸兄が体当たりに対して対応する実力を身につけるようになったのには驚いた。

先師からの口頭による指導はなかったが、各自が何を目標に稽古するかを自分で考え、行動する様になったのは、小生だけでは無いと思う。二、三ヶ月も経つと部員の稽古が以前とは、別段の剣道になっていたと感じた。

他校との親善試合、稽古にも皆が臆する事なく、「俺は芝工大の剣道部員」と言う誘いを持って対峙出来たのが、全部員に「ありあり」と見えた。

先生は週3回の稽古日を休んだと言う記憶がない。そんな中、学生たちとの言語に絶する猛稽古で、先師の体はボロボロになってしまった。その頃の部員数は、50名を超えており、その学生たちが一回の稽古で二回三回と体当たりをするのだからたまらない。一日に千本以上の体当たりを受けていた計算となる。

昭和40年の北海道の夏合宿では、痛めた背骨の神経の所為で手や足に麻痺が現れていた様に見えた。北海道の夏合宿から戻ってからの師は、みるみる弱っていった様に思う。その冬には、もう竹刀は持てず、靴の紐も満足に結べぬ程に病状は進み、我校での稽古でも竹刀を持つ事が無くなってしまい、我校を退いたと記憶している。

先師が身を挺して迄、我々生徒に教えたかった稽古の目的は、社会に出てから小手先の技ではなく、「常に全力で、体当たりで事に当たれ」との事だったと思う。小生も先師とは身近に接して頂き、色々なお話を伺ったが、小さい頃の辛い話とか、試合での戦績の自慢話等はあまり聞いた覚えが無く、東京での中山博道有信館道場での稽古、皇宮警察道場での荒稽古又、朝鮮時代の事、戦後の焼跡からの出発等色々話して頂いたものである。お話を聴いているうち、昼になると必ずカレーを注文し御馳走して呉れた。（これは脱線・・・）

先師が我校の指導に当たられてからのエピソードと言って良いか解らないが二つ三つ紹介しよう。先師と初めての合宿は、昭和38年夏、大阪城の修道館であった。その時代は館長の井上正孝先生他そうそうたる剣客が、入れ替わり立替わり来館され稽古をつけて下さったものである。合宿納会では、生徒の黒田節で、先師が剣舞を披露して下さった状況は今も目に残る。我々41年卒組の最後の夏合宿は思い出深い北海道へ行った。ある日の稽古で先師にいつもの様に地元の先生が稽古をお願いしたのだが、もうその時には相当神経が痛んでおり、握力が保てなかった様で、先師は竹刀を落としてしまったが、悠然と相手を見つめていた。相手の先生はあわてた様子で、両手で竹刀を先師に手渡したのを見て、人の格の違い、貫禄の違いを見た思いがした。

先師が我校の学生をどれ程愛していたかは、教わった学生たちの多くがいまだに剣道を続けていることで、ご理解できるものと思う。思い出は尽きる事なくありますが、この辺りで終わります。

小生の稚拙な文章では、我々が教わった先師の教えの1/100も語れず、皆様には、1/1000も理解出来ないと思いますが、この文の中から何かひとつでも感じて戴ければ幸いです。又、先師羽賀準一については、ホームページで見られるので必見ください。



佐藤師範との出会い



第13期(昭和50年卒)
現剣道部監督
小田島幸伴

芝浦工業大学体育会剣道部創部50周年、誠におめでとうございます。

永年剣道部を支えて頂いた大学関係者の皆様、歴代の師範、部長の先生方そして多くの諸先輩方に深く敬意を表します。また、私自身輝かしい剣道部の歴史の一ページに名を残せたことを嬉しく思っています。

私は昭和46年に入学しました。学生運動がやや下火になったものの、まだ学内では所々でアジ演説やデモ行進が行われている状況で、落ち着かない学生生活の始まりでしたが、入学式の日には剣道部に入部しました。

故郷岩手で小学4年から剣道を始め、自信満々で剣道部の門を叩いたものの、当時の4年生は鎌田主将を筆頭に石井、市川、稲田、矢島、小池等々名だたる先輩たちが名を連ね、とても歯が立ちません。しかし、一方ではこのまま稽古すれば何とかなるなとも思ったような気がします。

私の剣道人生で衝撃的な出会いが一ヶ月後にやってきました。たぶん5月の連休中だったと記憶していますが、大宮の体育館で稽古中に佐藤先生が初めてお出でになりました。先生は昭和6年のお生れですから、その時まだ40歳。すでに警視庁の剣道師範になられておりました。

早速稽古をお願いしたところ、今まで経験のしたことのない衝撃が体を走りました。意気込んで構えたものの、どこを打っていいのか分からないというより、まるで金縛りにあったように竹刀が全く動かない。「あれ？あれ？」と思う間に体育館の隅まで追込まれ、最後は片手で強烈な半面。

今度こそと気を取り直し、勇気を振り絞って小手、面と技を繰り出すもことごとく簡単に返され、最後はさもスローモーションでも見ているような面。後はお決まりの掛け稽古となりました。岩手では選手権に出場した先生方とも稽古しましたが、佐藤先生の剣道は全く次元が違います。忘れることのできない剣道におけるカルチャーショック的な出会いでした。

私は昭和52年に結婚しましたが、佐藤先生ご夫妻に媒酌の労を取っていただきました。佐藤先生の人柄や、ユーモア溢れたスピーチには、両親始め親戚一同も魅了されましたし、私も一生の誉だと思っております。

昨年より菊井先輩の後を受けて監督を仰せつかりました。仕事の関係でなかなか稽古に行けず申し訳なく思っていますが、学生たちに将来に繋がる何かを伝えたいと思っています。

そんな折、最近の『剣道日本』の佐藤先生と馬場先生（国士舘）の対談の中で、「相手を動かして打つ」「相手の心を打つ」とのお話がありました。『心を打つ』、何と素晴らしい言葉だろう。私自身の今後の『剣道の糧』として精進したいと思っております。

佐藤師範は日本剣道の宝です。その先生に教えを頂いたことは私たちの一生の誉です。どうかこれからも奥様と共に元気に過ごされ、私たちをご指導下さいますようお願いいたします。



元師範 佐藤博信
剣道範士八段

剣道暦

全日本選手権大会 出場8回（3位入賞4回）
全日本東西対抗試合（個人戦）優勝
世界選手権大会団体優勝
国民体育大会優勝
明治村剣道大会優勝4回



警視庁剣道名誉師範
三菱養和会剣道部師範
東京電力剣道部名誉師範
芝浦工大剣道部名誉師範

「芝浦工業大学剣道部 50 周年に思う」

第 29 期生(平成 3 年卒)
尾田 真

創部 50 年と聞いて、私の人生より長い年月、そんな伝統のある剣道部の OB である事を喜び、今なおその仲間と交流がある事に感謝し、今後も長く伝統が続く事を切に願い、20 年前を思いだしている。

同期入部は、鷹田、増田、吉野、北村、山田（女子）の 5 人。新入生歓迎会で吐くまで酒をのまされた辛い飲み会の記憶ばかり。ただ、今思えばそのおかげで、一人前に酒が飲めるようになったと思えるのも事実。

2 年生になり、中村、須藤という強力選手が入部し、剣道の思い出も記憶に残っている。そんな中、やはり何と言っても、伊藤知治先生との初めての夏合宿が、今でも忘れられない。寝床と道場が一体の合宿所で、私の剣道人生でダントツ最高に厳しい一週間であった。伊藤先生は就任間の無く、とても気合が入っていた。

毎日「鬼」に見えたのは、私だけではないと思う。確かに伊藤先生は、稽古を「訓練」と呼び、「私のモットーは、自分に厳しく、他人にはもっと厳しくだっ!!」とおっしゃっていた。

訓練開始 30 分でスタミナが切れても、ホイッスルを吹き続け、2 時間の訓練を子前後の日に 2 回。訓練終了前の早素振りは 100 本のはずが、毎日誰かの小事を指摘し、結局 200 本。皆、毎日小便の色を見比べていた。訓練後、伊藤先生は書道もされていた。鷹田君と私で半紙と墨汁を買いに行った思い出がある。佐藤先生から頂いたと言っておられたシルバー色のクラウンも洗車した。本当に、本当に、本当に辛い厳しい夏合宿であったが、脱落者なく、皆で訓練を乗り越えることが出来た。この厳しい訓練が自信となり、戦闘能力が相当に高まっていた事に、秋の試合で気が付いた。

1988 年 11 月、第 22 回関東理工科系学生剣道新人大会。連続優勝校である東京農大を 3 回戦に代表決定戦で破り、17 年ぶりに優勝した。皆それぞれ活躍し、全く思いもよらない結果が出て嬉しかった。この優勝は、今でも私が関東で、学生時代訓練していた証であり、自慢のひとつとなっている。伊藤先生の弟子で本当に良かったと今でも思い、同じ札幌在住で、今でも稽古仲間の同期鷹田君と酒を飲む度に話せる良き思い出である。又、同期増田君は最近、次の様にも言っている。「今、振り返ってみると、剣道は個人競技だけでなく、一人ひとりが、自分の役割を確認してチームの仲間につけていく団体競技であることを、あの試合で体感できたことは、大きな財産になった」と。

OB 諸先輩から祝いの袴も頂き、とても有り難かった。

芝浦工大剣道部の伝統をひとつ刻むことができたことを改めて今、しみじみ感じている。今後も後輩たちにこの伝統を継承し続けて欲しい。時代は変わっても、武士道精神、体育会精神は、私にとり、先生、先輩、仲間、後輩たちに改めて謝意を表すことができる幸運となった。これからも「訓練」を継続し、精進して行きたいと考えている。



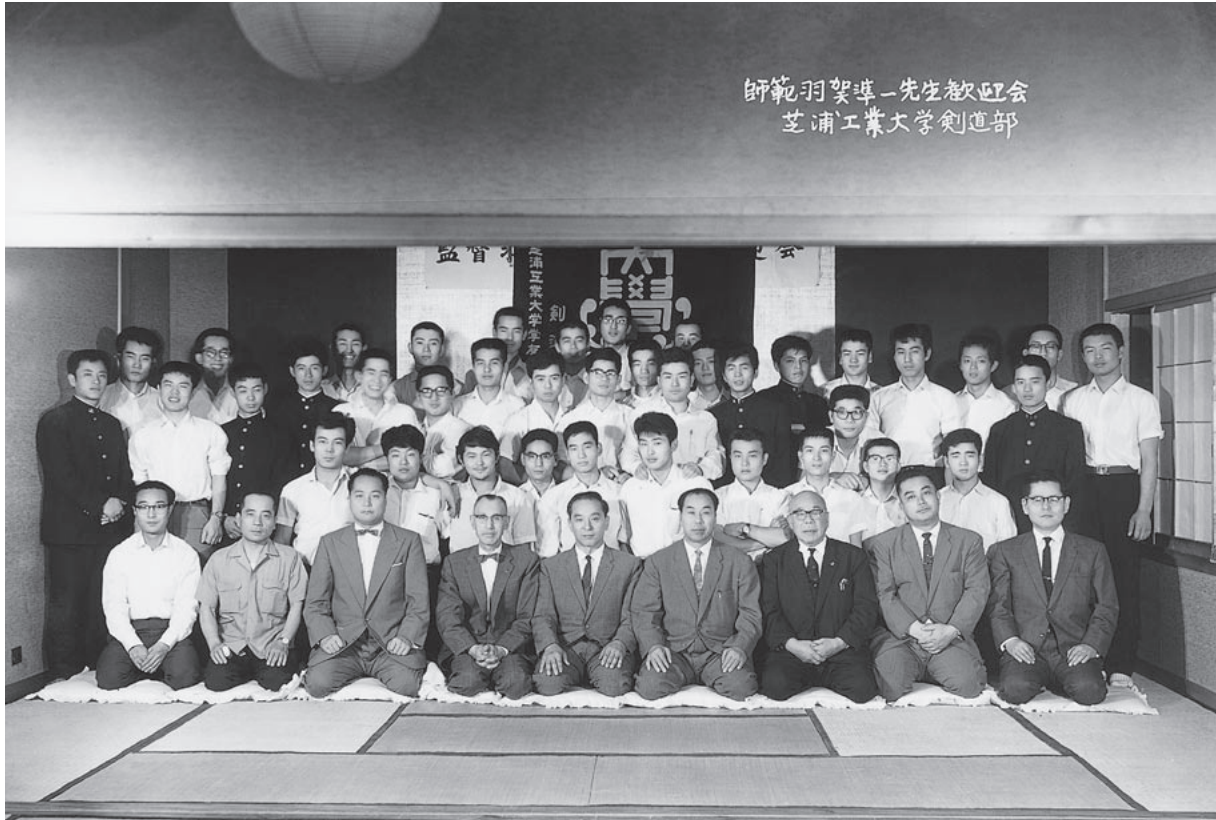
S37.11 道場開 田町校舎 6F



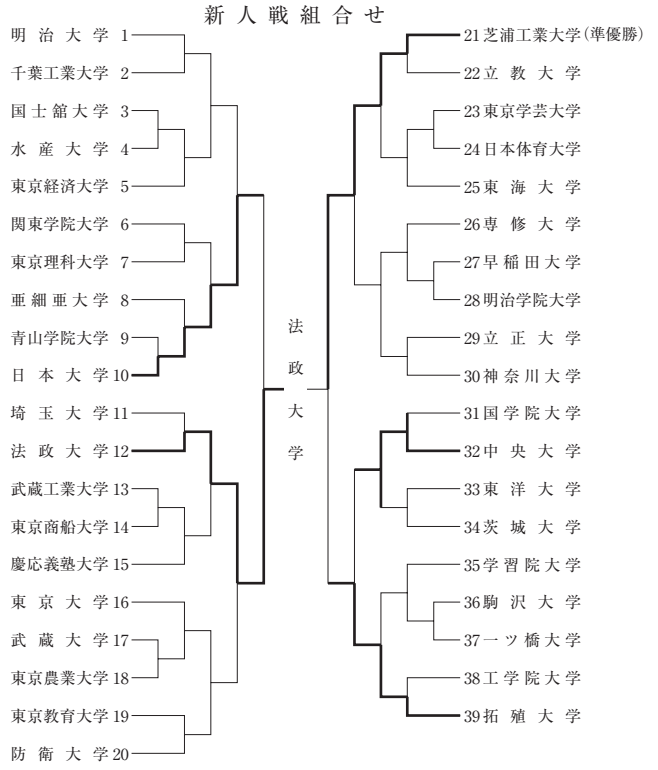
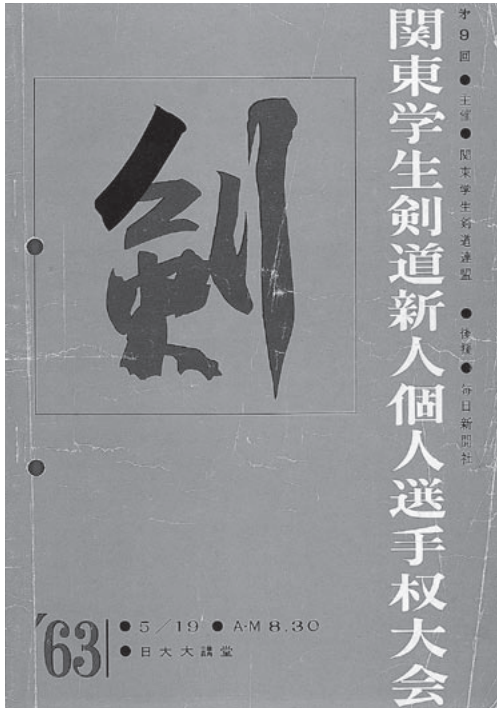
S37.11 剣道部創部当時の先輩方



S38.5 第9回 関東学生剣道新人戦 準優勝



S38.7 羽賀準一先生歓迎会
広川剣道部長・羽賀師範・渡辺先生・大麻十段
(前列左から4人目) (前列中央) (前列右から3人目)



(左) 羽賀先生

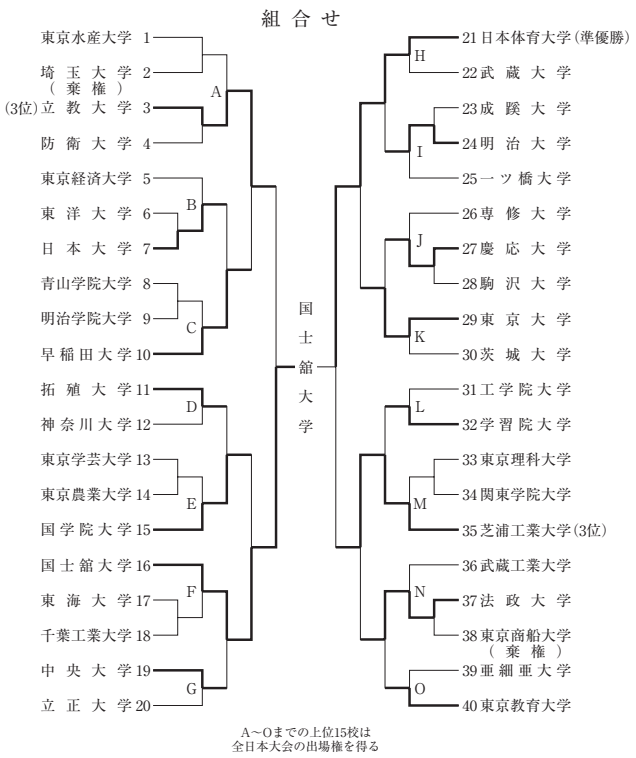


第10回全日本学生剣道優勝大会
1962年 大阪中央体育館

監督及び主務名	選手氏名	学部学年	年齢	段位	出身校
藤林義雄	吉岩弓男	土木科1年	18	3段	杵築高校
	大花考彦	電気科1年	18	3段	佐賀高校
	高橋佳典	電子科1年	18	2段	本荘高校
	若橋秀俊	電気科1年	18	3段	帝京高校
高野亘行	安橋林忠	電気科2年	19	3段	白杵高校
	見行親代	電気科2年	19	3段	川口高校
	原口和浩	土木科2年	20	3段	城北高校
	藤林祐二	電気科2年	19	3段	佐賀高校
		建築科2年	19	3段	京北高校



S39.9.20 第13回関東学生剣道優勝大会 3位入賞



監督及び主務名	選手氏名	学部学年	年齢	段位	出身校
羽賀純一	安見和代	土木学部3年	20	3段	城北高校
	楯行親	電気学部3年	20	4段	川口高校
	若林忠	電気学部3年	20	3段	白杵高校
	下山弘	土木学部3年	20	3段	東奥義塾高校
松本繁	吉山弓男	土木学部2年	19	4段	杵築高校
	小暮賀孝	電気学部1年	18	3段	不動岡高校
	大塚進	電気学部1年	18	3段	白杵高校
	先生喜彦	機械学部1年	18	3段	榛原高校
	久山雅生	電子学部1年	18	3段	西大寺高校



三鋒 吉岩 (左)



次鋒 小暮 (左)



三将 楯 (左)



中堅 下山 (右)



S39.9 第13回関東学生剣道優勝大会 3位
先鋒 久山 (左)



大将 若林 (左)



副将 安見 (右)



S38 春合宿 陸上自衛隊宇治駐屯地
二代目師範 藤林義雄先生(後列左から7人目)



菊井 佐藤監督 下山



羽田 野口 渡辺 時田



S39 大阪修道館前
生田 久山 羽田 小暮

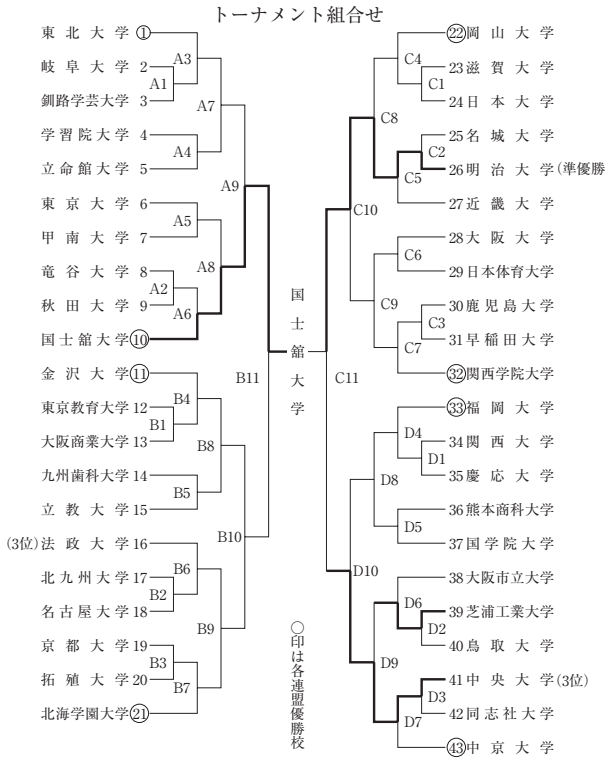
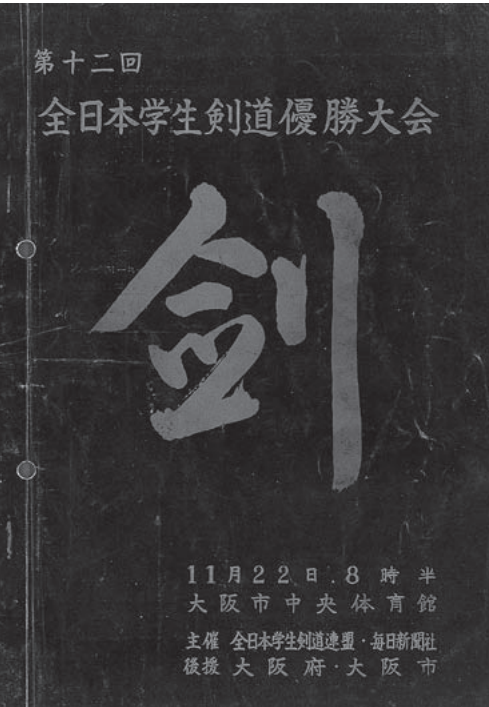


S39 大阪修道館



春合宿 静岡桃源寺 羽賀師範(中央)

S39.11.22 第12回全日本学生剣道優勝大会 ベスト16



監督及び主務名	選手氏名	学部学年	年齢	段位	出身校
羽賀純一	若林忠	電気工学科3年	20	4段	白杵高校
	楠行親	電気工学科3年	20	4段	川口高校
	下山勝弘	土木工学科3年	20	4段	東奥義塾高校
	安見和代	土木工学科3年	20	3段	城北高校
	藤林祐二	建築工学科3年	20	3段	京北高校
	吉岩弓男	土木工学科2年	19	4段	杵築高校
	大森孝彦	電気工学科2年	19	3段	佐賀高校
	小暮賀孝	電気工学科1年	18	3段	不動岡高校
	久山雅生	電子学部1年	18	3段	西大寺高校



上 小暮 大森 楠 下山 藤林 吉岩 松本
下 若林 安見 久山



S39 秋 大阪修道館
石上 下山 楠 吉岩 安見 松本 藤林 大森 野口

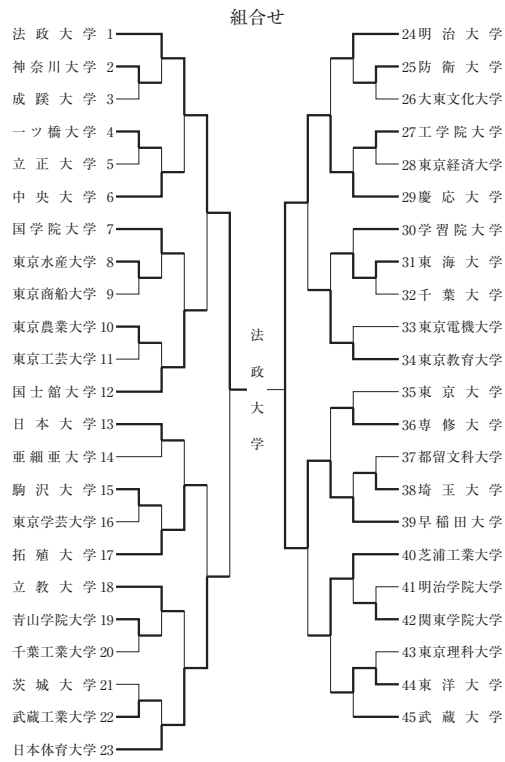


同志社大学 出稽古
吉岩 楠 松本 下山



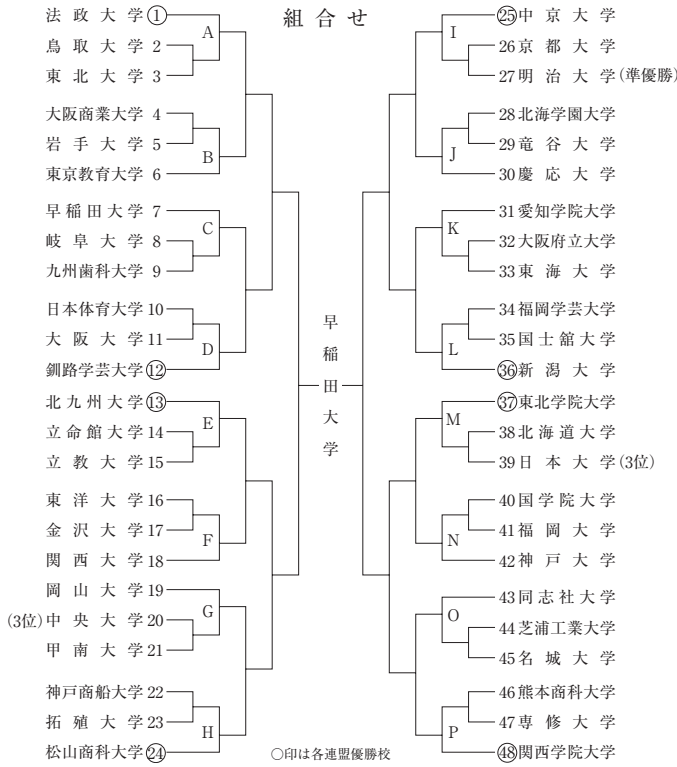
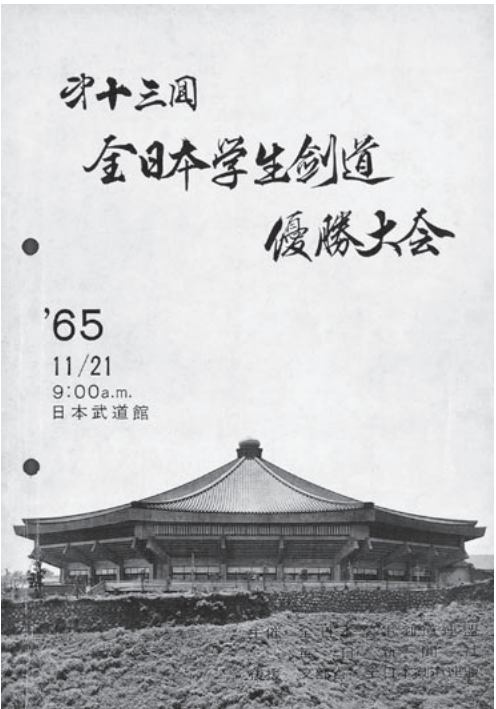
S40.4 春合宿 熊本警察学校

S40.10.10. 第 14 回関東学生剣道優勝大会 ベスト 8



監督及び主務名	選手氏名	学部学年	年齢	段位	出身校
羽賀純一	安見和代	土木学部4年	22	3段	城北高校
	下山勝弘	土木学部4年	22	4段	東奥義塾高校
	若林祐二	電気学部4年	21	5段	白杵高校
	藤林祐二	建築学部4年	21	3段	京北高校
藤林祐二	大森孝彦	電気学部3年	20	4段	佐賀高校
	吉岩弓男	土木学部3年	20	4段	杵築高校
	小暮賀孝	電気学部2年	19	4段	不動岡高校
	大塚雅生	電子学部2年	19	3段	西大寺高校
			19	3段	白杵高校

S40.11.21 第 13 回全日本学生剣道優勝大会 ベスト 16



監督及び主務名	選手氏名	学部学年	年齢	段位	出身校
羽賀純一	安見和代	土木科4年	22	3段	城北高校
	若林祐二	電気科4年	21	5段	白杵高校
	藤林祐二	建築科4年	21	3段	京北高校
	吉岩弓男	土木科3年	21	4段	杵築高校
花橋佳典	大森孝彦	電気科3年	21	4段	佐賀高校
	小暮賀孝	電気科2年	19	4段	不動岡高校
	大塚雅生	電子科2年	20	3段	西大寺高校
	江本志寿雄	電気科2年	20	3段	白杵高校
		電気科1年	19	2段	小城高校



S40.8 夏合宿 北海道大学



S41.11.20 第14回全日本学生剣道優勝大会 3位入賞
於：大阪市立中央体育館

(上段) 岡田 小泉 有園 佐々木 柳沢 吉田 石上 大塚 百瀬 菊井
(下段) 小暮 宮崎 大麻 吉岩 鯉渕 久山 小坂

先鋒	次鋒	三鋒	中堅	三将	副将	大将
久山	佐々木	小坂	大塚	小暮	大麻	吉岩

師範：佐藤博信



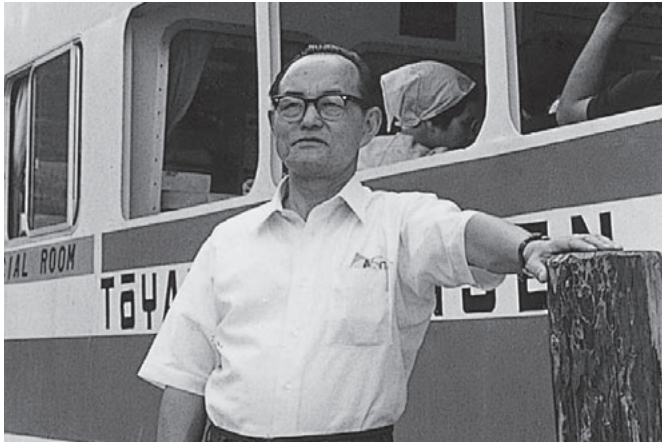
副将 大麻



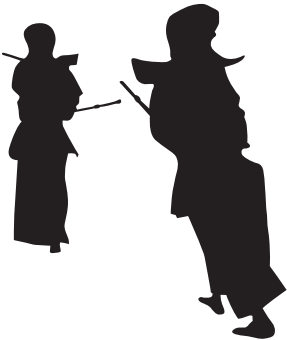
大将 吉岩



S42 洞爺湖合宿



鯉渕先生 (第3代 剣道部長)



S49 札幌合宿

大岡 堀田 竹島 小田島 志村 矢動丸 工藤
山下 松田 安田 古屋 藤原
植田 大坪 築地 佐藤 小沢 秋山 加藤



S49 長崎合宿

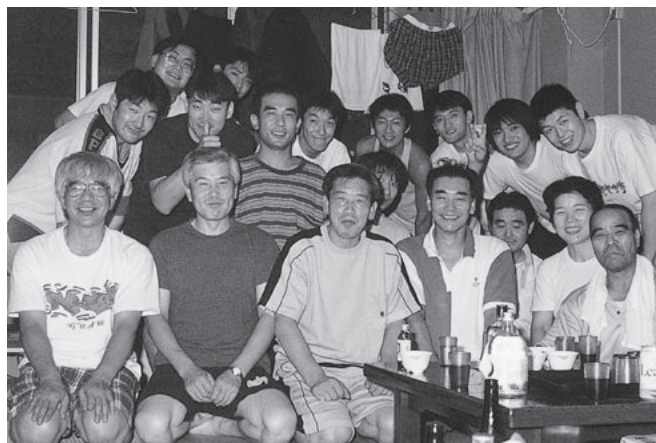
小沢 志村 矢動丸 古屋 竹島 植田 加藤
椎名 築地 佐藤先生 藤沢



第23回 関東学生優勝剣道大会



H10.8.27 鹿島神武殿合宿



鹿島神武殿合宿

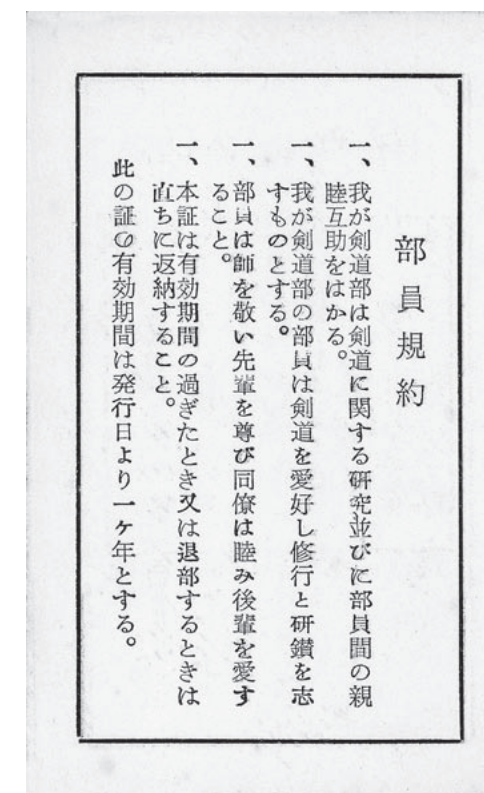
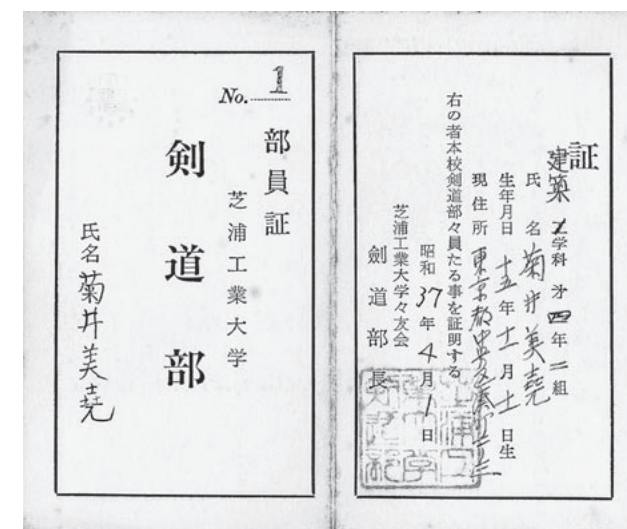


第26回 関東学生剣道優勝大会
昭和52年9月23日 於日本武道館

左より 尾家 長田 飯島 田仲 村井 井上 堀田(大将)



関東学連剣友剣道大会出場





山田 増田 種村 山下
佐藤先生 須藤 北村 鷹田 尾田 上原



三浦 山脇 増田 飯村 須藤 中村
進木 伊藤先生 佐藤先生 阿部 堀川
北村 五十嵐 鷹田 尾田 山田 吉野



H5.9.4 西大寺 OB 会合宿



寄居 OB 会合宿



三浦 増田 鷹田
吉野 中村 尾田 須藤



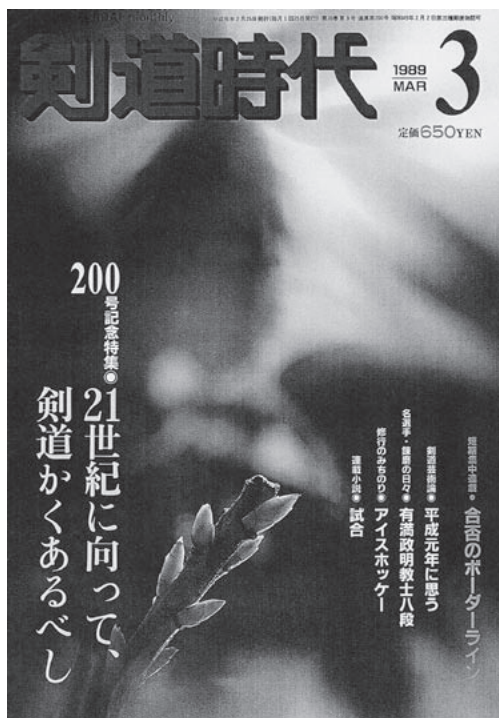
山田 山下 三浦 秋山 岡崎 種村
北村 鷹田 増田 吉野 尾田 須藤



平成2年 学連剣友剣道大会
上原 石山 菊井 伊藤 堀川
阿部 吉岩 柴崎



小田島 水田 椎名 上原
吉岩 阿部 小野 堀川



芝浦工大、17年ぶりの復活！
●第22回関東理工系学生剣道新人大会

第22回関東理工系学生剣道新人大会（参加32校）は、去る11月27日武蔵工大に於いて行われた。この大会は毎年東京農業大が圧倒的な強さを誇っていたが、今大会は無心でぶつかる芝浦工業大の前に、3回戦で代表戦の末に敗れ去った。東農大がベスト4入りできなかったのは14年ぶりのことである。

一方、優勝候補を降して波に乗った芝浦工大は準決勝で明大を4-1、決勝では東海大を4-3でそれぞれ破り、実に17年ぶり3度目の優勝を果たした。

新監督の伊藤知治氏（警視庁）は「部員とOBの団結力があつたからです」と静かに語った。

▼団体準決勝
芝浦工業大 4-2 明治大
東海大 4-2 日大農獣医

▼決勝
芝浦工業大 4-3 東海大

優勝・村田昌彦（東京農大）2位・中村浩敏（芝浦工大）3位・須藤純（芝浦工大）田北博司（東京水産大）（通信）電ヶ崎市 椎名市衛氏

○三浦 村 野
○中 村 堀
○鷹田 今 井
○須藤 コメー 青 木
○増田 一 〇 清 野
○吉野 〇 反メ 常 木
○尾田 〇 ツ田 中

喜びの芝浦工大

「編集後記」

今年3月の剣道部OB総会で、菊井会長から50周年記念事業実行委員長を任命され、島田幹事と二人三脚で何とかここまで推進することが出来ました。これも菊井先輩・藤林先輩・若林先輩・阿部先輩・小田島先輩・矢動丸先輩他からたくさんのご助言を頂いたおかげです。

この場をお借りいたしまして、深く感謝申し上げます。又、平成元年以降OB会低迷期にご尽力頂きました椎名先輩・上原先輩にも深く感謝申し上げます。

編集期間が短く平成元年以降の資料・写真が集めきれなかったこと、又至らない点も多々ありますこと、深くお詫び申し上げます。編集にあたり、改めて剣道部50年の歴史の重みを実感しました。現役生には引き続き、この歴史を刻み続けて頂くことをお願い申し上げます。



50周年記念行事実行委員長
第17期生(昭和54年卒) 飯島敏春

過去の戦績

1. 全日本学生剣道優勝大会(男子団体)

第57回大会(2009年開催)

第3位 1回	第14回大会		ベスト8	2回	
	S41.11.20		ベスト16	2回	

2. 関東学生剣道優勝大会(男子団体)

第58回大会(2009年開催)

第3位 2回	第13回大会	第15回大会	ベスト8	3回	
	S39.9.20	S41.10.10	ベスト16	4回	

3. 関東学生剣道新人戦大会(男子団体)

第55回大会(2009年開催)

準優勝 2回	第9回大会	第14回大会	ベスト8	2回	
	S38.5.19	S43.5.12	ベスト16	3回	

4. 関東理工科系学生剣道選手権大会(男子団体)

第55回大会(2009年開催)

優勝 10回	第1回大会	第3回大会	第6回大会	第7回大会	第8回大会	第9回大会
	第12回大会	第13回大会	第14回大会	第16回大会		
準優勝 3回	第4回大会	第10回大会	第29回大会			
第3位 7回	第2回大会	第5回大会	第11回大会	第20回大会	第28回大会	第31回大会
	第44回大会					

5. 関東理工科系学生剣道新人戦・個人戦大会(男子団体)

第41回大会(2009年開催)

優勝 3回	第2回大会	第3回大会	第22回大会			
準優勝 2回	第5回大会	第7回大会				
第3位 4回	第6回大会	第14回大会	第16回大会	第30回大会		

6. 関東理工科系学生剣道新人戦・個人戦大会(男子個人)

第41回大会(2009年開催)

優勝 2回	第8回大会	矢動丸 浩二先輩	第23回大会	中村 浩敏先輩
準優勝 3回	第4回大会	藤沢 由春先輩	第5回大会	小田島 幸伴先輩
	第22回大会	中村 浩敏先輩		
第3位 3回	第6回大会	藤原 裕人先輩	第22回大会	須藤 純先輩
	第24回大会	中村 浩敏先輩		

* その他港区区民剣道大会・埼玉県剣道大会等は省略させていただきます。